

地域生活支援拠点等の整備について

1 地域生活支援拠点等運営会議の実施

地域生活支援拠点等（以下「拠点等」という。）の各機能の充実や地域課題の掘り起こし等を目的とした、地域生活支援拠点等運営会議（以下「運営会議」という。）を以下のとおり実施したため報告する。

※参考：5つの機能（①相談、②緊急時の受入・対応、③体験の機会・場、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくり）

（1）実施日

回	開催日	議題・検討内容等
第1回	令和5年6月6日	・各機能の進捗状況確認（安心支援プランの運用、赤塚ホームショートステイ整備事業など）
第2回	令和5年9月15日	・各機能の進捗状況確認（赤塚ホーム拠点等への登録など） ・安心支援プランの登録、地域課題の検討の方向性

（2）実施内容の要点

①第1回

- 年度初めのため、各機能に関する取組の進捗状況を確認。
- 令和5年4月から拠点等へ登録された3つの特定計画相談支援事業所を紹介（会には不参加）。また、第2回以降の運営会議で議論する安心支援プランの取り扱いについて共有。

②第2回

- 各機能において、進捗があった取組を共有。
 - 拠点等へ登録された「障がい者福祉センター（特定相談支援事業所）」から、安心支援プランが1件提出された。緊急時シミュレーションの実現性や妥当性など、安心支援プランの内容を確認し、登録者として第1号認定。また、安心支援プランから掘り起こされた地域課題について、検討の方向性を協議。
- 別紙：安心支援プランの登録・地域課題の抽出状況について

（3）今後の運営会議の運営

- 第3回を令和5年11月～12月に開催予定
- 拠点等へ登録している事業所の参加
- 安心支援プランの運用（登録者の増、地域課題の積み重ね）

2 運営会議を踏まえた各機能の進捗状況

運営会議で主に進捗のあった「相談」及び「緊急時の受入・対応」機能について報告する。

(1) 相談機能

①板橋区でめざすべき姿（令和4年度協議会資料から再掲）

- 障がい者福祉センター（基幹相談支援センター）の機能移転・充実や、特定相談支援事業所等を活用した、緊急時に常時連絡が取れる体制（拠点）の検討・整備
- 障がいの特性に応じた相談、関係機関への円滑な接続ができる体制の検討・整備

②進捗状況

- 相談支援事業所連絡会にて、安心支援プランを周知。
- 安心支援プランの運用を開始し、第2回運営会議において、緊急時に支援が見込めない世帯の個別事例の共有や地域課題を掘り起こした。今後は、特定相談支援事業所の協力のもと、安心支援プラン登録者を増やしていく。

③今後の課題

- 基幹相談支援センターの運営・機能充実
- 夜間、土日等の相談支援体制
- 障害者支援区分を取得していない方の緊急時に備えた対応
- 特定相談支援事業所への拠点等の登録促進・安心支援プランの作成依頼

(2) 緊急時の受入・対応機能

①板橋区でめざすべき姿（令和4年度協議会資料から再掲）

- 区内短期入所施設との連携、協力体制の確保に向けた検討・調整
- 緊急保護事業（赤塚ホーム）における受入の充実に向けた検討
- 関係機関へ適切に接続しうる連携体制の検討

②進捗状況

- 令和5年10月1日から赤塚ホームにおいて短期入所施設を開設。
- 赤塚ホームを拠点等へ登録。
- 板橋キャンパス跡地整備について、東京都において施設整備・運営事業者を選定する公募要領を公開（令和5年8月28日付）。

③今後の課題

- 赤塚ホームの緊急時における役割の整理
- 区内短期入所施設への拠点等の登録促進・協力体制の確保

安心支援プランの登録・地域課題の抽出状況について

令和5年度第2回地域生活支援拠点等運営会議（以下「運営会議」という。）において、特定相談支援事業所から安心支援プラン(案)が提出され、運営会議にて登録した。今回は、最初の登録者という理由から、安心支援プランの仕組みを共有するため、その内容を報告する。

1 運営会議にて安心支援プランを取り扱う目的

- (1) 障がい福祉サービス支給量の妥当性などを確認し、組織的に決定する必要があるため。
- (2) 個別事例の積み重ねから地域課題を掘り起こし、拠点等の各機能の充実につなげるため。

2 安心支援プランの内容（登録No.R5-001 から抜粋）

(1) 本人情報（安心支援プラン登録の要件）

本人の状況 (一人での生活ができない)	a.医療面	・服薬管理が必要
	b.生活面	・食事・排泄の介助が必要
	c.行動面	・見守りが無いと自傷・他害の危険性がある ・行方不明の危険性がある ・犯罪等の反社会的行動を起こす可能性がある
家族等の状況	主介護者が単身（親類はいるが距離や関係性等の理由で支援が見込めない）	

その他の状況：現在にいたるまで、主介護者の疾病により、緊急時対応を繰り返している状況。

(2) 緊急時シミュレーション内容※個人情報等含むものについては、見え消し修正、一部削除

調整日		令和5年 ● 月 ● 日												
※イメージ図 <p>緊急発生</p> <p>家族が面会を見られない状況</p> <p>発生場所 自宅 発生場所 ●●福祉通所事業所 ※受給者証・薬・お金の用意</p> <p>発生場所が自宅である本人の所在が確認できない場合 ⇒ 警察</p> <p>計画相談事業所 (●●●●●●●●)</p> <p>介護タクシー 一般タクシー</p> <p>現状確認し、相談事業所単独での解決が難しい場合は、福祉事務所・基幹相談支援センターと連携を取る。</p> <p>優先① 赤塚ホーム ●●●●●●●●</p> <p>優先② ●●福祉園</p>														
【連絡体制の確保】 <input type="checkbox"/> どこへ ●●●●●●●● (計画相談支援事業所) ●●福祉事務所 ●●福祉園 <input type="checkbox"/> どのような方法で 電話 <input type="checkbox"/> 誰に ●●●●●●●● (計画相談支援事業所) : ●● 基幹相談支援センター : ●● ●●福祉事務所 : ●● ●●福祉園 : ●●														
【緊急派遣、一時保護の調整】 <input type="checkbox"/> どこへ 赤塚ホーム ●●●●●●●● ●●●●●●●● ●●福祉園 ●●●●●●●● (計画相談支援事業所) <input type="checkbox"/> どのような方法で (送迎手段等) 介護タクシー 一般タクシー <input type="checkbox"/> 誰と 緊急事態が発生した場所の支援者と														
疾病・障がいについて（医療的行為・行動障がい等） 嘔吐・反胃を繰り返すため衛生面での配慮が必要。 自閉傾向強く発語困難。パニック時には自傷や走り出す事が予測される。言葉の指示は何となく理解して下さる。 緊急事態に予測されること・対応での留意点 短期入所は登録はしているものの利用実績がないため、施設側の受け入れ不可が予測される。 事前に準備しておくもの <table border="0"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> お金</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 着替え</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 手帳、受給者証</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 常備薬</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 補装具等 ()</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>			<input checked="" type="checkbox"/> お金	<input checked="" type="checkbox"/> 着替え	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 手帳、受給者証	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 補装具等 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> お金	<input checked="" type="checkbox"/> 着替え	<input type="checkbox"/>												
<input checked="" type="checkbox"/> 手帳、受給者証	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
<input checked="" type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/> 補装具等 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												

安心支援プラン一部抜粋
 （安心支援プランの内容は緊急時シミュレーション以外に、緊急時の連絡先や福祉サービス利用状況、アセスメントシート等有り。）

(3) 安心支援プランにより抽出された地域課題

- ・ 緊急時、本人の障がい特性（嘔吐反芻等）に対応可能な短期入所等の施設が少ない。
- ・ 土日と夜間に緊急事態が発生した場合、情報集約・コーディネートする相談支援機関がない。

(4) 地域課題について検討された内容

【検討内容】

- ・ 特性への対応 → 行動障がいに関する支援者向け研修への短期入所施設の参加促進
- ・ 土日夜間の対応 → 対応窓口設置に向けた検討（土日夜間も開設している事業所や企業等、地域資源の抽出）

【主な意見】

- ・ 親の疾病等で緊急時対応を繰り返している場合、現時点で緊急時だけではなく、更に見据えた内容を想定し、準備しておくことが必要。
- ・ 土日夜間の受入れや 24 時間体制の相談については、入所支援施設との連携が必要。
- ・ 拠点等に登録した短期入所の、緊急時の動きがまだ見えていない部分がある。
- ・ 拠点等に登録した短期入所において、緊急時の受入れができない場合、次の短期入所施設に繋ぐまでを体系的にしておくことが望ましい。そのためには、拠点等登録時に、報酬の加算内容や拠点等の登録要件など、事業所に示していくことが必要。
- ・ 将来的に区立の福祉園を拠点等の役割に位置付けられるとよい。
- ・ 安心支援プランは、拠点等に登録した短期入所とは共有することが望ましい。

3 協議会における安心支援プランの取り扱い（相談支援部会との連携）

今回は、最初の登録者という理由から、安心支援プランが作成された後の仕組みを共有するため「本人情報」「緊急時シミュレーション」を報告させていただいた。

次回以降の報告内容は、安心支援プラン登録者数や運用状況、地域課題とその検討の方向性などを年度ごとに積み重ねたうえで、協議会において、適宜、協議・報告し、取組について評価し、地域課題に関する検討については、運営会議及び相談支援部会等を中心に行っていく。

